

令和7年度学校評価報告書

令和8年(2026年)3月19日

北海道教育委員会教育長 様

北海道千歳高等学校長 木幡 かおる

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 1 豊かな感性を育み、多様性を尊重する態度を養う。
- 2 自ら学び、探究し、適切に表現できる能力を伸ばす。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	生徒の実態を踏まえた教育課程を編成・実施してきた。週31時間の授業時数について評価を行ったが、大学進学的面において顕著な成果が見られることからこの体制を維持していくこととなった。「教員基礎」「教員基礎探求」を教育課程に設定し2年目を迎えたが、教職を目指す生徒にとって、大学で教育学を学ぶことや、義務教育諸学校で実習を行ったことで進路に対する意識を高くすることができている。	学習指導に関する「自己評価」はほぼ適正である。今後も千歳高校以外の場所にも学びの場を求め、生徒の夢をサポートする体制を維持してほしい。
改善方策	3学科の特色を他学科の生徒が少しでも学べる機会を創出し、本校の付加価値を高めていくことが課題であるが、大変充実している学校設定科目の見直しを図り、実現に近づきたい。	
進路指導	今年度は、年内入試(自己推薦・A0・学校推薦)で受験する生徒に対し、きめ細かな指導を展開するため、プレ・トレイン(全教員による個別指導)を行った。3学年の教員だけでなく、専攻分野に対し、専門的な知識を持つ教員を配置したことから、一定の成果を上げることができた。	進路指導に関する「自己評価」はほぼ適正である。常に改善意識を保ちながら効率のよい進路指導を行ったほしい。
改善方策	大きな取り組みが始まったことで、課題も明確になっている。進路指導部を中心により効率的で効果的な運営を目指していく。	
健康安全指導	前年に引き続き、自他共に思いやる心の育成に努めてきた。SCの活用をはじめ、カウンセリングマインドを持ち、教育相談体制の充実を継続した。	健康安全指導に関する「自己評価」はほぼ適正である。「こころ」の安全性を保つためにも地域の機関と協力体制を構築してほしい。
改善方策	今後も教育相談体制の充実を努める。生徒は生徒教職員の心理的安全性を保てることを目指す。	当然のこと、担任や学年をサポートし、生徒
国際交流	近年の中でも特に国際交流の充実がはかられた一年となった。台湾修学旅行団の受入や台湾への見学旅行、カナダ語学研修、長期アメリカ留学、JICAアフリカ研修員との交流、豪州や年3回に渡る韓国空港高校とのオンライン交流等、千歳にしながら正解を繋がり、コミュニケーション能力を格段に飛躍させた。他に数々の交流実績あり。	国際交流に関する「自己評価」はほぼ適正である。千歳市でこれだけの交際交流を実現しえいることは高く評価できる。
改善方策	教養科に偏っている国際交流の機会を他学科にも拡大していくことで、本校のスクールポリシーを具現化できると考える。	
広報	今年度は学校の教育活動を広く地域に周知するために、ホームページのみならずSNSの充実を図った。画像・動画・音声を駆使し、本校の教育活動を正確に伝えた。台北やバンクーバーからほぼリアルタイムで発信することで、保護者の心配を僅かでも和らげることができた。	広報に関する「自己評価」は適正である。地域が学校からの発信を待っているということを理解してほしい。
改善方策	多くの教員が記事を作成することを習慣とすることが求められる。	
公表方法	学校ホームページ	